

## 斬新なデザインと機能性を有する定尺横葺金属屋根材

### 「柁目 FLeX®」の本格販売について

JFE 鋼板株式会社（代表取締役：小倉康嗣）は、屋根材表面に杉板模様を模した凹凸を付けてデザイン性を向上した定尺横葺金属屋根材「柁目 FLeX®」を開発いたしました。

昨年、株式会社セキノ興産において設備を設置し、適用拡大を進めてまいりましたが、住宅を中心に継続的に引合い、受注があり、製造・販売体制も整ったことから、このたび、本格的に拡販していくことにいたしました。

これまでの一般的な定尺横葺屋根材では、あやめ折り等での縦線のデザインはありましたが、JFE 鋼板株式会社は、水密性などの機能性を損なうことなく、さらに意匠感も大胆に演出する定尺横葺屋根材「柁目 FLeX®」を開発いたしました。

「柁目 FLeX®」は以下の特色を有しています。

- 1) 斬新なデザインと塗膜の損傷を防止する軟質めっき層原板の採用：  
一般的に定尺横葺屋根材はロール成形法により製造されますが、JFE 鋼板株式会社は、杉板模様を模した凸凹をつけることで陰影のある美しい屋根面を実現するために、ロール成形で屋根形状を形成した後、さらにプレス加工で凹凸模様を付ける2段階の成形方法を開発し、実用化しました。  
また、より深い模様とするために鋼板の加工度が増し、塗膜に損傷を与える可能性が考えられるため、使用原板を「ガルフレックス仕様」とすることで変形性能を向上させることにより、めっき皮膜の割れを防止し、カラー塗膜の損傷を防止しています。
- 2) 1ピース化による施工性の改善：  
最近の職人不足への対応として省施工性を目指し、従来必要であった吊子、捨板、キャップ等の接続部品を用いずに、屋根材本体にその機能を定尺屋根本体に付与することで、接続部品ゼロ化を達成しました。  
これにより部品を本体に接続する手間が省け、屋根全体の葺きスピードも向上しています。
- 3) 防水性の向上：  
一般的に横葺屋根材は縦葺屋根材と比較して防水上不利になりますが、「柁目 FLeX®」では施工性を考慮して重ね式とした横継手に、3mmの深いリブ、20mmの広い谷部、雨水を手前へ戻す水抜き溝などを適宜配置した特殊なジョイント形状を採用することで、防水性にも配慮した構造になっています。

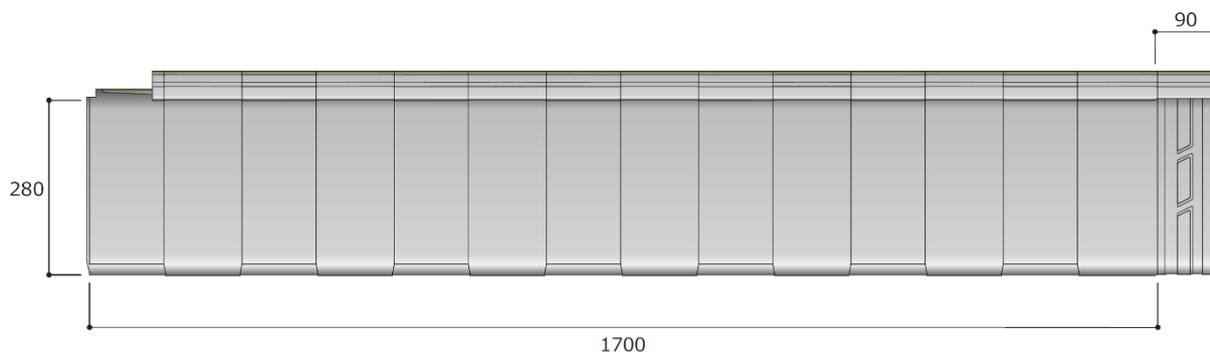
「柁目 FLeX<sup>®</sup>」は、意匠性、施工性、防水性、耐風強度等を含めた総合力でトップレベルの定尺横葺屋根材であり、新築の屋根材だけではなく、住宅分野の化粧スレート屋根の改修用途にも営業活動を展開していきます。

【問合せ先】 流通営業部 第二室 03 (3493) 1517

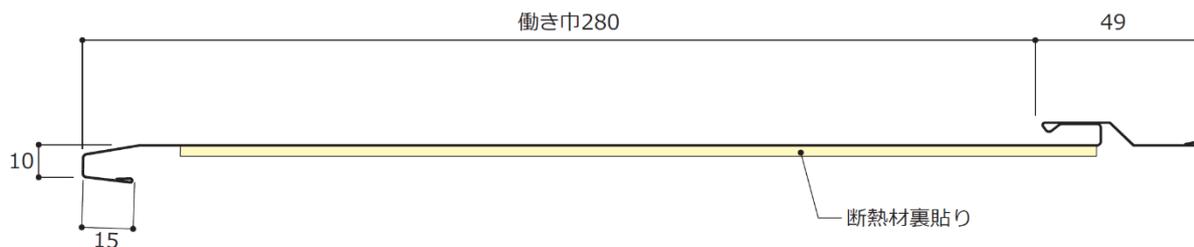
◆設計参考仕様

使用原板厚	0.4 mm
使用原板巾	407 mm
働き巾	280 mm
働き長さ	1700 mm
単位重量	5.12kg/m <sup>2</sup>
勾配	25/100 以上(一般地域) 30/100 以上(積雪地域)
断熱材裏貼り	標準

◆本体形状 (単位：mm)



◆断面形状 (単位：mm)



◆採用例

